

課 題	小 三	小 四	小 五	小 六	中 一	中 二	中 三
審 査 の 観 点	<p>ねらい 点画の書き方、特に始筆・送筆・終筆の筆使いに注意しながら、文字の形を整えて書く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① お 二画目の「はらい」の方向と筆使い</li> <li>② 正 横画・縦画の始筆・終筆の筆使い</li> <li>③ 月 二画目の「おれ」の筆使い</li> <li>④ 月 二画目の「はね」の筆使い</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>	<p>ねらい 筆使いに注意しながら、点画の長さや間隔・方向など文字の形を整えて書く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 美 横画の長さや間隔と、九画目の「はらい」</li> <li>② し 「はらい」の方向と筆使い</li> <li>③ い 一画から二画へのつながりと位置</li> <li>④ 心 二画目の「はね」の方向と筆使い</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>	<p>ねらい 文字の組み立て方に注意しながら、文字の形を整えて書く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新 「へん」と「つくり」の組み立て</li> <li>② た・な 三画から四画へのつながり</li> <li>③ 道 「首」と「しんによる」の組み立て</li> <li>④ 道 「しんによる」の筆使いと「はらい」の方向</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>	<p>ねらい 文字の形や大きさなどに注意しながら字配りよく書く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 将 「へん」と「つくり」の組み立て</li> <li>② 来 二画から三画へのつながりと、「はらい」の方向と筆使い</li> <li>③ の 「曲がり」の筆使いと「はらい」</li> <li>④ 夢 上下の組み立てと文字の中心</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>	<p>ねらい 行書の基本的な書き方（特に筆脈・連続）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 輝 「光」の二画から三画への呼応と四画から五画の連続</li> <li>② 輝 「軍」の六画から七画への連続と、中心を通る最終画</li> <li>③ 未 一画から二画への連続と五画目の形の変化</li> <li>④ 来 六画から七画への筆脈の連続と七画目の「はらい」の筆使い</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>	<p>ねらい 行書の書き方（点画の変化・省略）・字形</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 温 二画から三画への連続と「皿」の縦画の連続感</li> <li>② 故 四画から五画への連続と、八画から九画への筆脈の連続</li> <li>③ 知 二画から三画への筆脈の連続と、「へん」と「つくり」の組み立て</li> <li>④ 新 九画の省略による形の変化と、「斤」の連続感</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>	<p>ねらい 行書の書き方（筆順の変化・点画の省略）・全体配置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 初 「へん」の筆順の変化・省略とその形</li> <li>② 志 二画から四画までの連続感と、「心」の「はね」の方向と六画から七画の呼応</li> <li>③ 貫 「貝」の横画の間隔と、七画から十一画までの連続感</li> <li>④ 徹 「育」の連続感と「攴」の筆脈の連続</li> <li>⑤ 全体のまとまり・筆勢</li> </ol>
	お正月	美しい心	新たな道	将来の夢	輝く未来	温故知新	初志貫徹
	主として基本点画の用筆			主として字形の整え方			行書の基本